専任教員紹介

★各先生のお名前をクリックすると、業績ページへ遷移します。

客員教授

藤原 勝紀 教授（教育心理学博士・臨床心理士）

■専門分野　臨床心理学

●京都大学名誉教授
●日本臨床心理士資格協会代表専務理事
●日本心理臨床学会理事長

川上 正浩 教授（心理学博士）

■担当授業科目　心理統計法特論／研究演習

人間が外界の情報を如何に捉えるかを探る認知心理学を中心に、人が感じる「らしさ」を研究対象にしています。熟語が醸し出す「単語らしさ」、不思議現象の「確からしさ」など、まだまだ知りたいことがいっぱいです。

高橋 裕子 教授（臨床心理士・公認心理師）

■担当授業科目　臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ／臨床心理実習／研究演習
臨床心理学特論Ⅱ

精神科病院、総合病院等医療領域で心理療法や集団精神療法、心理アセスメントを行ってきました。地域では他職種と共に難病・障害・慢性疾患を持つ方やその御家族への訪問等による心理的援助、研究を行っています。

根本 眞弓 教授（教育学博士・臨床心理士）

■担当授業科目　臨床心理面接特論Ⅰ・Ⅱ／臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ／研究演習
心理療法特論A／学校臨床心理学特論A・B／臨床心理実習

私立中学・高校の専任カウンセラーとして不登校・心身症などに悩む生徒の心理面接を、神経科のクリニックでは、精神病・人格障害・自閉症など病理の重い人の精神分析的心理療法を行ってきました。乳幼児のこころが思春期・青年期に与える影響について臨床実践と研究を行っています。

山崎 晃男 教授（人間科学博士）

■担当授業科目　心理学研究法論／認知心理学特論／研究演習

主として実験的な手法で人間の心のはたらきについて研究しています。その時々で自分が面白いと思うテーマに取り組んできた結果、音楽、視聴覚相互作用、感情、コミュニケーション、問題解決などかなり多岐にわたる研究対象を扱っています。

奥田 亮 准教授（臨床心理士・公認心理師）

■担当授業科目　臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ／臨床心理基礎実習／研究演習
心理療法特論B

心理療法や心理検査を受ける中で、人の心には多様なイメージが動き、様々な感覚や感情・体験が生じます。そのようなイメージの次元から人間を理解し、研究や心理臨床の実践に繋げていきたいと考えています。

坂田 浩之 准教授（臨床心理士・公認心理師）

■担当授業科目　臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ／臨床心理基礎実習／研究演習
臨床心理学特論Ⅰ

発達障害やうつ病、統合失調症の方との心理療法を通じてこころの可能性を探求しています。絶対的な解決法が見つかっていない不登校の問題にもとりくんでいます。特に遊戯療法が好きで、現役のプレイセラピストです。

野田 実希 専任講師（臨床心理士・公認心理師）

■担当授業科目　臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ／臨床心理基礎実習

主に医療・教育現場で心理療法や心理アセスメントを行ってきました。特に語り・ナラティヴへの関心があり、病いや喪失、危機に伴うこころの揺らぎにまなざしを向け、「わたし」という自己の在りようを探究するとともに、心理臨床実践との接点を模索しながら研究を行っています。